

27年度 技術・家庭科（家庭分野）

教科書選定の観点

- (1) 技術・家庭科（家庭分野）の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- (2) 思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。
- (3) 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、衣食住などの生活の営みに関する実践的・体験的な学習活動が充実し、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- (4) 社会の変化に対応する視点から、主体的に生きる消費者としての態度が育成されるよう工夫されているとともに、和食をはじめ我が国の伝統的な文化についての関心を深めるよう配慮されていること。
- (5) 安全面・衛生面に対して十分留意できるよう配慮がされていること。
- (6) 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。
- (7) 題材構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮がされていること。
- (8) 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- (9) 表記、表現について、図版の精度や色彩が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。